

# 道退教とかち

NO 129

2014. 4. 5

全北海道退職教職員の会 十勝・帯広支部

支部長 尾崎 忠顕 事務局 瓜屋 譲

<事務局> 080-0055 帯広市柏林台東町4丁目9番地 0155-34-1009

E-mail [uri-027@a2.ocv.ne.jp](mailto:uri-027@a2.ocv.ne.jp)

## 十勝・帯広支部 2014年度総会の「案内」

- ◇と き 4月20日(木) 11時より
- ◇会 場 帯広駅前「ふじもり食堂」
- ◇会 費 1,000円(昼食代・当日会場にて)
- ◇参加申し込み 4月15日締め切り

日差しがめつきり柔らかくなり、畑には土が顔をだし、春を感じます。そして春は、新しい出発の季節でもあります。

私たち道退教十勝・帯広支部も、春の息吹を胸いっぱい吸い込んで、若々しく「活動3分、楽しみ7分」の活動を意気高くスタートさせたいと思います。

そのためには、まず総会においていただいて、お互いの近況を語り合い、日々の思いや腹の立つことを出し合うことから始めたいと思っています。

お迎えが必要な方は、事務局に連絡いただければ車の手配もしますので、ご遠慮なくお申し付けください。

ご案内が遅くなって申し訳ありません。出欠のはがきを同封しましたので、必要事項を記入して早めに投函をお願いします。

### ようこそ道退教へ

◇新しい仲間を迎えました!

- 小椋圭一さん(80歳)
- 菊地雅弘さん(60歳)
- 守屋敏紀さん(60歳)

みなさんきっとご存知の方も多いと思います。日常生活や行事の折に気軽に声をかけてあげてください。

菊地さん、守屋さんのほかこの3月で退職を迎えた方々もお誘いしています。

◆退会者の紹介  
米倉興幸さん、立花良秋さんが、この3月をもって退会することになりました。長い間ありがとうございました。お元気で!

### 「プ子・十勝野」第1号

ただ今編集集中!

原稿まだ間に合いますヨ!

今年の総会で、「毎年、十勝野を作って欲しい」との要望が出され、この企画が立ち上がりしました。現在、編集を進めています。原稿をまだ出してない方は今からでも間に合いますのでよろしく願います。是非多くの投稿をお待ちしております。送り先、問い合わせは、瓜屋まで。

## 「もう我慢も限界!」 安倍政権のこの大罪

多数の上にあぐらをかいたような政治が国民を苦しめています。

<その1> 何といっても消費増税です。しかも、「増税分の5兆円はすべて社会保障に」という嘘の政府広報を垂れ流すとは、東北の復興にも影響大。

<その2> そのうえ負担増・給付減! 70~74歳の医療費窓口負担増、40~64歳の介護保険料引き上げ、年金の支給額を0.7%減額、国民年金保険料引き上げ、児童扶養手当0.3%減額、生活保護費引き下げ(就学援助費にも影響)...

<その3> その一方で、大企業優遇の法人税引き下げ、復興法人税の廃止、公共事業、軍事費のバラマキ、さらに秘密保護法の強行、集团的自衛権の解釈改憲を企図、靖国参拝、河野談話見直し、原発の恒久電源化と原発輸出三原則の放棄、TPPの交渉参加とやりたい放題です。

<その4> 教育委員会制度の改悪、道徳の教科化、全国一斉学力調査、教科書検定および育鵬社版教科書採択の「是正指導」発令など教育の管理統制も強化。

一これらの攻撃に対抗するために、わたしたちも闘う意志を示しましょう!

いま、教育委員会制度が大きな危機に直面しています。まず、昨年末に中教審が戦後60年以上続いてきた制度を改変して、教育委員会を首長の下請け機関に格下げすることを答申。呆れたことに、その答申の根拠というのが①(いじめ問題など)機能不全論と②中央統制補完論(文科省の中央集権的教育行政の補完ルートになっている。だから改正が必要)というもので、自分たちがこれまで散々教育に介入し、教育の自由や自主性を否定してきたことを理由にしようというのです。

教育委員会制度は、公選制から任命制になるなど曲折、変遷はありましたが、権力の攻撃から国民の教育を守る住民自治のための行政制度です。これまでも、1学級あたりの定数改善と予算の確保、首長の学校別学力テストの数値公表に反対、学校の統廃合への抵抗などその役割を果たしてきました。

この改悪を許すと、大阪の泉佐野市の市長が教育長に命じて、学校の図書館にある「はだしのゲン」を回収させたようなことがまかり通ってしまいます。私たちも、かつて教育委員会と対立した経験はありますが、この本質を見誤ることなく、制度廃止、改悪反対の声を上げていく必要があります。